

欧州特許庁、2012年の出願件数を公表

2013年1月21日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、1月17日、2012年の出願件数（速報値）を公表した。プレスリリースによれば、出願件数は258,000件で2011年に比べて5.7%増加し、登録件数も65,700件と5.8%増加した。出願数の増加の半分以上は、日本、中国及び韓国からの出願が占めている。

パティステリ長官は、プレスリリースにおいて次のとおりコメントしている。「3年連続で出願数が増加していることは、欧州及び世界の企業が発明の保護を求めており、欧州が新技術にとって依然として魅力的な市場であることを示している。この増加は継続的で長期的な傾向の一部であり、欧州特許の価値への産業界の信任の証である。」

なお、今回公表された出願件数は、EPOに直接出願された件数に、PCT出願（国際段階）の件数を足し合わせたものである。日本国特許庁の特許行政年次報告書と同様の算出基準で見ると、出願件数は142,810件（2011年の確定値）（EPOに直接出願された件数に、Euro-PCT域内段階件数（PCT出願のうち欧州域内段階へ移行した件数）を足し合わせた数値）となっている。

◆欧州外からの国別出願件数（総出願数の63%）

- 1位：米国（総出願数の24.7%；6.1%増加）
- 2位：日本（総出願数の19.9%；8.5%増加）
- 3位：中国（総出願数の7.3%；11.3%増加）
- 4位：韓国（総出願数の5.5%；7.7%増加）

◆欧州内からの国別出願件数（総出願数の37%）

- 1位：ドイツ（総出願数の13.4%；3.4%増加）
- 2位：フランス（総出願数の4.6%；0.6%増加）
- 3位：スイス（総出願数の3.2%；5.0%増加）
- 4位：英国（総出願数の2.6%；4.4%増加）
- 5位：オランダ（総出願数の2.5%；2.6%増加）

－ EPOのプレスリリースは、以下参照 －

[All-time high for activities of the European Patent Office in 2012: 258 000 filings \(+5.7% over 2011\) and 65 700 granted patents \(+5.8%\)](#)

－ 国別出願件数の表は，以下参照 －

[Top 50 countries of origin](#)

－ 欧州特許庁の 2011 年の出願件数は，以下参照 －

[European patent applications filed with the EPO in 2011](#)

－ 欧州特許庁の 2011 年の出願件数（国際段階を含めた総計）は，以下参照 －

[Total European patent filing in 2011](#)

－ 欧州特許庁の 2011 年の出願件数に関する欧州知財ニュースは，以下参照 －

[欧州特許庁，2011 年の出願件数を公表 \(PDF\)](#)

(以上)